

指定管理者の評価に係る合議の概要

| | |
|--------|---|
| 施設名 | 箕面市立多世代交流センター |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人ひじり福祉会 |
| 開催日 | 令和8年（2026年）1月30日（金） |
| 開催場所 | 箕面市立多世代交流センター 2階会議室 |
| 合議の出席者 | 箕面市老人クラブ連合会 会長 戸瀬 静彦 氏 多世代交流センター利用者協議会 会長 竹中 恵子 氏 子育て支援センター利用者 杉本 彩花 氏 民生委員児童委員協議会中小地区委員長 上原 茂 氏 稲東自治会 会長 大音 通雄 氏 |

【概要】次頁のとおり

| | |
|-----------|--|
| <p>内容</p> | <p>令和8年1月30日（金）に箕面市立多世代交流センター2階会議室にて、指定管理者にかかる合議を実施しました。その中で合議の出席者より以下のご意見がありました。</p> <p>（１）浴場について （合議出席者） 現在休止中の浴場について、市との協議はどれくらい進んでいるのか。</p> <p>（高齢福祉室） 浴場スペースの活用については、利用者協議会でのご意見等を踏まえて、具体的に話を進めているところ。今後の方針が決まって発表できるようになれば施設内の掲示板で掲示する等により利用者の皆様へお知らせする。</p> <p>（２）施設について （合議出席者） 近隣住民以外は稲ふれあいセンターを知らない人がいる。もう少しPRしてみてもどうか。</p> <p>（指定管理者） フリーマーケットの時には周辺地域へ1,000枚程チラシを配っており、参加人数は増えた。イベント時だけではなく日常的なPRについては良い方法を考えていきたい。</p> <p>（合議出席者） 資料に記載されている利用者の人数は、実際よりも少ないのではないかという気がする。</p> <p>（指定管理者） 資料に記載している利用者の人数は、入館時に利用証をかざした人の数。慣れてくるとかざさずに入る人もいるし、去年の4月から利用証（カード）をかざすタイプに変えたが、きちんと感知されていない状態で入館される人もいるので、実際の利用者数はもう少し多いかと思う。かざし忘れや漏れのないよう入館いただくための対策を検討する必要がある。</p> <p>また施設が出来て12年経ち、オープン当時は70代の利用者が中心だったが、今はその方達が80代になり、要支援・要介護になるなども、利用者数に影響しているかもしれない。</p> <p>昨年6月から月に一度子ども食堂を開催し、お子さん連れが増えてはいる。こんなところがあったんだというような声もあり、今後もPRに活用していきたい。</p> <p>（合議出席者） 来館者を増やすためにチラシ以外のPRはしているのか。例えば、もみじだよりへの掲載など、全市民向けのPRをしてはどうか。また今後施設利用をしていくであろう今の50代、60代に知ってもらう必要があるのではないか。</p> <p>（指定管理者） 大きいイベントの時などはもみじだよりに掲載している。イベント開催後にブログもあげているが、事前告知まではできていない。施設のホームページや市のホームページには年間行事を掲載している。</p> <p>60代、70代でも今は働いている人が多い中、周知して利用してもらうのが難しい。</p> |
|-----------|--|

おひさまルームも同じで共働き家庭がほとんどのため0～1歳の利用が多い。定員に満たないプログラムがある時は、利用者のかたに直接連絡し誘致することもある。

(合議出席者)

中小地区の子育てサロンもほとんどの利用者が0歳児。保護者は、子どもが1歳になると復職してしまうかたがほとんどである。

(合議出席者)

高齢者のつどいやいきいきサロンなどでチラシを配布するのが良いのではないか。

(指定管理者)

ぜひ協力を得ながら進めたいと思う。市民活動センターなどもチラシを置かせてもらえるので、検討していきたい。

(合議出席者)

資料に「臨時的な避難施設としての指定があれば検討する」や「1月17日の避難訓練をしている」などの記載があるが、地震への備えについて具体的にどういった検討をしているのか。

(指定管理者)

1月17日は市が一斉防災訓練をしているので、同日に訓練をやるようにしている。今年も70名ほどの施設利用者のかたと訓練をした。エレベーターでないと2階から1階へ下りられない利用者について、実際に避難が必要となった場合、どうするのが課題。

避難施設としての指定についてはまだ具体には協議していないが、船場地区・稲地区の避難所は中小学校で、中小学校まで行けない方の一時的な避難所として活用するのはどうかと考えている。

(合議出席者)

指定避難所は主に小学校だと思うが、それだけで本当に災害時大丈夫なのか、ここが「一時的な避難場所」として位置付けられていけば良いと思う。

(合議出席者)

自分は子どもが7ヶ月くらいの時からおひさまルームを利用している。1人で子どもを見ていると不安になることが多い中で、同じ境遇のお母さん達や先生と交流が持てるおひさまルームに助けられた。ここに来ているお母さん達はまた外に出ていける気力のある人達だと思うが、出てこれないお母さん達もいる。SNSなどを活用し、そういったお母さん達にもおひさまルームの存在が届いて欲しい。

(3) 駐車場について

(合議出席者)

施設利用者ではない一般の人でも利用できる駐車場ということで、施設で行われる会議の30分前に来ても満車で停められないときもあり困る。公共交通機関を使って来たらいいのだろうが、場所によっては不便である。施設利用者ではない外部の人でも停めることができるのは何故か。

(指定管理者)

開設のときから多世代交流センター専用の駐車場ではなく、稲ふれあいパーキングという名で誰でも使えるようにしており、施設利用者は割引対象という運用。利用者や教室の先生にはゆずるバスなど公共交通機関の利用も勧めている。

アンケートには駐車場料金を下げて欲しいといった声もあるが、周りの駐車場に比べて安い中で今より更に下げるともっと駐める人が増え、施設利用者の方が困るのでないかというところから安易には下げられないと考えている。

(3) 総評

利用者アンケートの結果等から、施設運営についての利用者からの評価は良好と判断します。

引き続き、地域のかたに周知広報を行い、新規利用者を増やすことはもちろん、多世代間の交流を今後さらに促進することを期待します。

アンケートの結果及び合議の意見からも総じて指定管理者として円滑な運営を行っているとし評価します。

以 上